



佐々木中学校だより

E-mail sasaki-jhs@inet-shibata.or.jp

電話 0254 (27) 2505

防災の現地学習で学んだ「自分の命を自分で守る」こと

10月29日(月)に、学年ごとに3方向(三条市、長岡市、小千谷市)に分かれて、防災学習に出かけました。中越地震や新潟・福島豪雨などの自然災害に襲われながらも、その被害を乗り越え、被災の教訓を今に伝えている防災施設等を訪問し、充実した学びができました。

3年生が訪問した長岡震災アーカイブセンター「きおくみらい」では、中越防災安全推進機構の方からの講話を聞きました。講話の後で、3年生男子が「自然災害発生時には、中学生としてどんなことに取り組むことができますか。」と質問したところ、講師の方から次のような回答をいただきました。

まず、自分の命を自分で守る行動が最も大切です。自分の命があって初めて、その先のいろいろな支援に当たることができるからです。「中学生として何ができるか」というとても良い質問を受けましたが、これからの時代を生きるみなさんには、「地震や水害の時にどうしようか」という考えから、「地震が起こる前の今、私たちはどんな備えができるか。災害発生時の被害を軽減するために何ができるか」という心構えを大切にしてほしいです。

中学生として、そして家族の一員として、「災害が発生したときに、どう備えればいいのか」を普段から考えておくという心の準備を忘れないでほしいです。

当日午前中、各学年が三条・長岡・小千谷の訪問先で学習しました。その感想を紹介します。

「災害が発生したときには「自助・共助・公助」による助け合いが大切だと学びました。平成16年と平成23年に2回の水害に襲われた三条市では、2回目の水害時に、1回目の水害時の反省を生かし、連絡のやりとりの仕方を改善し、被害者の増大を防いだそうです。自然災害はいつ起こるか分かりません。事前に十分な話し合いをしておくことで災害に対応できることが分かりました。」(1年 K)

「災害発生のシミュレーションでは、体験した人の体が前後左右にすごく揺れていました。急にあんな大きな地震が襲ってくると思うと、とても怖いです。今回の体験で、災害への備えの意識を常にもち、指示を待つのではなく、自分の判断で行動できることが大切だと学びました。普段から避難訓練をしておかないと、本当の災害の時にちゃんとした判断ができません。災害発生時の避難について、家族で話し合っておきたいです。」

(2年 G)

「ボランティア活動にも様々な取組があると知ることができました。どんな小さな活動でも、進んで参加することが大切です。災害対応に当たっては、中学生の力に期待することが思った以上に大きくて驚きました。長岡市が防災活動に積極的に取り組んでいることがよく分かりました。」(3年 S)

佐々木地区には積極的に活動する「自主防災会」が組織されています。中学生も佐々木地域の一員として、防災への取組に進んで参加してほしいです。(「広報しばた 9月3日号」でも紹介されています。)



1年生 三条市水防学習館



2年生 おじゃ震災ミュージアムそなえ館

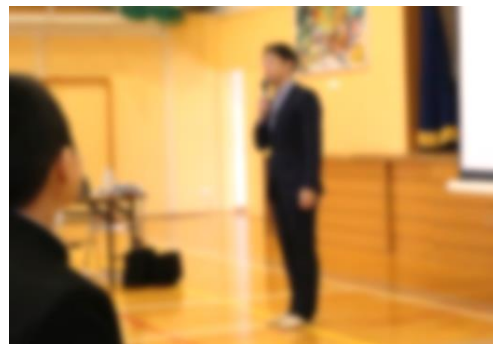


3年生 長岡市「きおくみらい」

事前学習

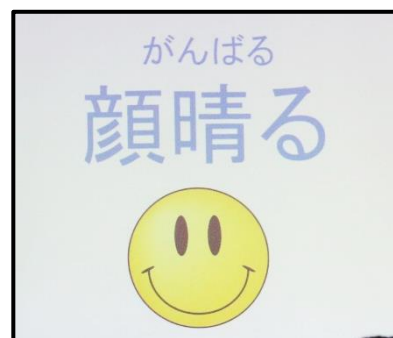
講演 被災地ボランティアの経験を通して、今、伝えたいこと

10月25日（木）に、現地学習の事前学習として講演会を行いました。講師は、一般社団法人「愛・南魚沼みらい塾」のKさんです。これまでの7年間に30回以上も被災地ボランティアに出かけた経験から、防災の視点を通して「どうして私たちは、被災地を学ぶのか」、「私たちは、被災地で困難な状況乗り越えようとする人から何を学ばなければならないのか」を話していただきました。



生徒の中には、講演の途中にスクリーンに映し出される東日本大震災の被災地の画像や映像を見、被災地の小中学生の復興・復旧に向けての言葉に涙する人もいました。Kさんのお話を聴きながら、多くの学びを得ていました。

1年男子 YY 僕は、防災学習の映像とお話を通して、被災地で生きる一人一人が自分の命を大切に生きていたと感じました。行方不明の子を探す保護者の表情や、家族みんなを失った小学生の姿がとてもかわいそうでした。それでも、その悲しみを乗り越えて笑顔に変えて生きていた姿が素晴らしかったです。被災者のみなさんが挫けずに頑張る姿には、体全体から「顔晴る（がんばる）」という気持ちが表れていました。僕も、「顔晴る」という言葉を意識して、周りに笑顔を届けてあげられる人になりたいです。



2年女子 NR 私は中越地震が起きた2004年10月23日に生まれました。地震が自分の生まれた場所の近くで起きていたかもしれないと考えると、産んでもらったことをお母さんにたくさん感謝しないといけないと思いました。今日の講演で紹介された、東日本大震災で多くの家族を失ったのに、ものすごい勇気でがんばっている小学5年の女の子の映像などには涙が出ました。これからは、避難訓練などの防災の取組にこれまで以上にちゃんと真面目に取り組もうと改めて思うことができました。

3年男子 TY 今回の講演会では、色々な映像を見て胸が痛くなりました。被災者の気持ちを考えると辛いだけでなく、切ない気持ちでいっぱいになります。被害に遭われた人々が、前向きに生きようとする姿勢はすごいと思いました。私たち一人一人も、自然災害の本当の怖さを知り、対策を練っていかねばなりません。他人事とせず支え合うことが大切だと思います。本当に「すごい」人とは他人のことを本気で考えられる人だと実感しました。

3年女子 SR 東日本大震災があった年に、私は家族に連れられて被災地である福島県を訪れました。その光景を、私は今でも忘れられません。今回の講演があると聞き、震災当時の両親の顔を思い出しました。両親は真剣なまなざしでニュースに流れる被災地の映像を見ていました。今回の講演を聴いて、私は改めて震災の恐ろしさを知りました。私は被災者が明るく前を向いている姿に尊敬の気持ちをもちました。



佐々木地区防災組織の皆様からも、大勢ご来校いただきました。

「自分の命を自分で守る」という言葉を忘れないように、胸に刻んでいきたいです。

講演者のKさんは、講演の最後を次のようなお話で締めくくりました。

「情報化社会」と言われる現代社会にはいろんな情報が飛び交っています。これからの時代を生きる中学生のみなさんには、「何が大事で、何が正しいのか」をしっかりと見極めることのできる力が必要です。私たちは過去の震災をどうして学ぶのか。それは、過去のあやまちを忘れないようにするためです。私たちは、正しい判断力を持ち、あやまちを繰り返さないようにしていかなければなりません。

各学年が三条、小千谷、長岡で現地学習

現地学習の午前中に、1年生は三条市、2年生は小千谷市、3年生は長岡市をそれぞれ訪問しました。各学年の訪問先での防災学習の様子をまとめました。

1年生 学校出発→**三条市水防学習館**→**Snow Peak**（企業訪問）→宮内中学校へ

1年男子 SR 三条市では、H16年の**7.13**水害で大きな被害を受けましたが、そこから「災害に強いまちづくり」に取り組み、その7年後に発生したH23年の**7.29**水害では、被害を最小限に抑えることができたと学びました。非常食（飲料水やレトルト食品など）や避難用具（ラジオや電灯など）の用意を整え、災害に強く、安全に生活できる環境づくりが進んでいることが分かりました。

1年女子 HN スノーピークの会社の中がガラス張りにしてある理由が、互いの姿が見えることで、緊張感も高まり、仕事を頑張ろうという意欲も高まり、互いの仕事ぶりが分かるのでコミュニケーションもとりやすくなるという効果があることが分かりました。



水害時に車が水没した時に
ドアにかかる水圧体験

2年生 学校出発→**おじや震災ミュージアム「そなえ館」**→宮内中学校へ

2年女子 WR 「震災が起きたら、どう行動するか」を考えることが一番大切だと思っていましたが、「生き延びて、避難所で過ごすとなったら、周りの他の避難者と助け合うこと」が大切だと気が付きました。日頃から地域の人たちと交流をして信頼関係を築いていれば、災害発生時にも、不安に襲われずに済むと思いました。そなえ館では、「地震が起きて50人がケガを負い、パニック状態になっている所に助けに行けますか」と尋ねられました。私たち2年生は、その質問に誰も答えられませんでした。何も震災が起きていない今尋ねられても、すぐに答えられませんでした。地震に遭った時に「何をすべきか」をすばやく判断できる力が大切だと思いました。



3年生 出発→**震災アーカイブセンター「きおくみらい」**→**長岡市民防災センター**→宮内中へ

3年男子 TR 「きおくみらい」での学習で、中越大震災による被害の大きさがわかりました。全壊した家が多く見られ、とてもショックを受けました。余震も何度も起こり、震度6強の余震もあったそうです。いつ揺れが来るか不安で、屋外で過ごすという避難生活はとても厳しいものだったと思います。災害の対策としては、そなえをすることが大切だと学びました。これからどんなそなえをして、どうやって自分の命を守っていくことができるかを考えさせられた学習でした。



3年女子 NM 被災者の辛い話を聞いて悲しくなりました。いろいろ見ることがあってとてもいい勉強になりました。もしも震災が起こっても、自分の身は自分で守れるように、今回聞いた話を忘れないようにしたいです。

3年女子 IA 被災地の避難所では、地域の人たちが物を分け合ったり助け合ったり、互いに協力しながら仮設住宅での生活をしていました。被災地でのボランティア活動にも、「自ら進んで行動する」「ともに支え合う」といった大切な原則があることを教えてもらいました。自主防災会の組織化率では、新発田市は約82%と全国平均値並みだとわかりました。

全校生徒が長岡市立宮内中学校を訪問しました

10月29日（月）午前中には、各学年がそれぞれ違う方面での防災学習に取り組みましたが、午後には、全学年が長岡市立宮内中学校を訪問し、長岡市の宮内地域の防災拠点でもある宮内中学校の防災施設と防災の取組について学習しました。

長岡市立宮内中学校は中越地震後に建設が始まり、東日本大震災の影響もあり、予定よりも約1年遅れて、平成23年度末に完成しました。長岡市内の小中28ヶ校の中で最も新しく、防災拠点としての活動も充実している学校です。

訪問した当日には、各学年に分かれて、校内の防災施設を見せてもらいました。校舎内2階に設置されているプール、避難所開設時の物品が格納されている防災倉庫、主に高齢者や幼児向けの避難所として活用できる暖房完備の柔道場などを見て回りながら、それぞれの施設の特徴を防災の視点から説明してもらいました。

訪問時間は約1時間程度でしたが、防災施設の見学以外にも、宮内中学校の防災委員会の取組の紹介と佐々木中学校の1年間の防災学習の取組の紹介を行い、両校の情報交換と交流の機会となりました。

3年男子 SY

宮内中学校に備えられているような防災設備や災害に対応できる施設が、佐々木中学校にも今後必要だと感じました。宮内中学校の防災委員会のように、中学生が率先して、近くの保育園児と手を繋ぎながら高台に逃げるような避難訓練や地域の防災対策に加わる活動や、それらの基盤となる学習活動にも積極的に参加する必要があると思いました。

3年男子 WH

僕たちが訪れた宮内中学校には、災害が発生した時のための設備が整っていて、とてもびっくりしました。災害発生時に物資を積んだ大型トラックを駐車できる屋根付き広場があり、停電した時のための非常電源設備などの設備も整っていて、防災拠点にふさわしい学校だと思いました。生徒も、防災委員会としての取組がいくつも行われていて、生徒のみなさんの防災意識の高さも感じました。僕は防災意識がまだまだ低いので、今回の訪問で学んだことを生かして、防災意識を高めていきたいです。

3年女子 SK

宮内中学校には、災害に備えていろいろな施設設備（避難所開設時の毛布や車イスが備蓄され、2階（職員室真上の）プールの水は防火用水としても利用でき、体育館壁面には避難者が情報交換や安否確認をすることができる掲示物を架けられるフックがあり、乳児に授乳したいお母さんが利用できるスペースがある）が充実していることを知り、驚きました。特に、災害発生時には、避難所スペースと教育活動できるスペースに分けることができるのは、素晴らしい発想だなと思いました。



2年男子 YS

避難所が開設される際には、通常の授業が行われる学習の棟と防災センターとしての役割を担う棟の2棟の造りになっていて、校内の施設が災害発生時に役立つ工夫がされていて、学校の近くに暮らす地域の人にとっては安心できる防災拠点だろうなと思いました。また、雨水を溜めておき、それを万一の際には、生活用水としても利用できることに驚きました。

2年女子 SH

訪問した最初は、「きれいですごく広い」という印象だけでしたが、学校見学をさせてもらって、災害のためのたくさんの工夫があるとわかりました。機械室には、千人が5日間飲めるくらいの飲料水が備蓄されたタンクがありました。防災倉庫には、千人分の毛布や幼児用のオムツが備えられています。階段は段差が小さく、玄関には段差がありません。バリアフリーの校舎は高齢者や幼児に配慮されていました。宮内中学校には他の委員会に所属している生徒の中に、特設の防災委員を兼ねている生徒がいました。宮内中学校の生徒のみなさんの防災意識の高さに感心させられました。



長岡市立宮内中学校ホームページでも、次のように紹介していただきました。(一部抜粋)

佐々木中学校の生徒約70名が宮内中学校を訪問しました。佐々木中の防災教育の一環として、「地域の防災拠点としての宮内中の施設を見学したい」という要望から実現したものです。佐々木中の校長先生が、校舎移転の時期に宮内中教頭として勤務していたことも、訪問の大きなきっかけでした。多目的ホールで開会式をした後、学年ごとに宮内中の防災設備を見学しました。佐々木中の3年生が、「すごくきれいな校舎でうらやましいです」「避難所になった時の工夫がいろいろあるんですね」など、いろいろな感想を話してくれました。その後、多目的ホールで宮内中学校との交流会を行いました。宮内中からは官和会の防災委員の代表生徒4名が参加し、宮内中の防災委員会の活動や防災学習の様子などを発表しました。昼休みに生徒フォーラムで、佐々木中学校の生徒とすれ違ったりした時に、自然に気軽なムードで「こんにちは」とあいさつをし合う姿なども見られ、とても清々しい気持ちになりました。佐々木中学校の生徒の皆さん、遠くからお出でいただきありがとうございます。



宮内中学校との防災学習交流会での「防災学習」紹介

3年女子 FH

私たちが取り組んできた防災学習を紹介します。まず一つ目は、避難所運営を模擬体験できた「HUG(ハグ)体験」です。これは、中学生が避難所の運営側の一員として、避難者を混乱なく誘導し、トラブルの未然防止にどう取り組むかを体験した学習です。被災現場の大変さを学ぶと共に、私たち中学生が被災者である以上に、当事者意識をしっかりとつべきだと知ることができました。二つ目は、自分たちが住む地域が海拔何メートルかを理解する学習です。県立新発田南高等学校の高校生の海拔調査から、佐々木地域には海拔が低いところがあるので、大雨や水害が発生した時にどう行動し、避難するかをあらかじめ決めておくことが必要だと感じました。防災学習を通して、自然災害はいつどこに襲ってくるか分からない、だからこそ、日頃からの防災について意識を高くもつことが大切だと実感することができました。



同窓会主催講演会 「後輩の皆さんに伝えたいこと」

10月30日(火)午後、佐々木中学校同窓会主催による「キャリア教育講演会」を開催しました。講演会の講師として、佐々木中学校の卒業生であり、現在、S地域広域事務組合消防本部の消防長を務めておられるFさんをお迎えしました。



Fさんからは、長年に渡り消防組織に勤務し、地域安全や被災地の復旧に携わってこられた経験をもとに、後輩

の中学生に向けて、「過去の災害から教訓を学び、いざという時に備えながら、災害発生時の対策を講ずる」ことの大切さを熱く語っていただきました。

講演の中では、Fさんご自身が、東日本大震災発生直後に実際に被災地に入り、直接体験したことについてのお話を聞かせてもらい、その時撮影した映像を見せてもらいました。お話を聞きながら、自然災害に遭うこと、避難所での生活を強いられること、ライフラインが寸断した中での生活することの苦勞を知り、佐々木地区で暮らす私達にとっても決して他人事ではないということ学びました。

3年男子 KH

僕たちの大先輩のFさんは、長年、被災地支援に、派遣隊の中心となって活躍されていたことが分かりました。講演会の前日(10/29)に、長岡に現地学習に出かけ、自然災害の恐ろしさを学びました。Fさんのお話を聞きながら、長岡を訪問した時に聴いた中越地震で被災された語り部さんの話との共通点がたくさんあることに気が付きました。Fさんが務める消防という仕事は、時には厳しい場面に直面するかもしれない大変な仕事だと感じました。と同時に、とてもやりがいのある仕事なんだなと思いました。自分の仕事にプライドを持って取り組んでいる大先輩のFさんは、とてもカッコいい人だなと思いました。

2年男子 IN

僕は飯島乙に住んでいます。今回の講演会の講師として来校されたFさんも飯島にお住まいの方で、僕は何度かお顔を見たことがある人でした。以前から知っている方でしたが、佐々木中の大先輩であり、消防隊員として東日本大震災などの災害現場に出かけているすごい人だという新たな一面を知ることができました。講演会前日に、僕たち2年生は小千谷市の震災ミュージアムを訪れ、震災の怖さを疑似体験してきました。Fさんの講演を聴いて、自然災害の恐ろしさを改めて思い知らされたように感じました。これからも震災の恐ろしさを忘れずに、避難訓練にも真剣に参加し、今回の講演会で教えていただいた「自助・共助・公助」の言葉を胸において行動したいです。



新・佐々木中学校同窓会長は、IRさんです。

平成30年度始めから、IRさんが佐々木中学校同窓会長を務めています。(前任のTAさんは、平成29年度末をもって同窓会長を退任されました。Tさんからは、長年に渡り同窓会長をお務めいただきました。) I同窓会長さんからは、今回の同窓会講演会の開会の挨拶と講師のFさんの紹介をしていただきました。

講演会終了後、同窓会役員会を開催し今後の活動方針を確認しました。

10月31日(水)に全校生徒が体育館に集まり、29日(月)に各学年が訪問先の防災施設で学んだことについて情報交換を行いました。その後、これまで学習してきたこと全てをもとに、将来、佐々木地域が地震等の自然災害に見舞われた時に「必要となるモノやコトや人」にはどんなものがあるかについて考えました。

3年男子 IK 現地訪問や講演会など今回の防災学習で防災の構えの大切さについて考えを深めることができました。3年生が訪問していない見学地について、1・2年生から聞くことができました。自分の防災に対する考えが低かったことがわかったので、日頃から「もしものこと」を考えて行動したいと思いました。

3年女子 KS 中越地震の被災地である長岡市を実際に訪問し、見学したり、語り部の方のお話を聴いたりして、とても濃い学習ができました。事後学習でも、「佐々木に必要なモノ・人・コト」を他の学年の人と一緒に考えることができよかったです。ボランティアに率先して参加すること、災害時には助け合うことなど、日頃から防災への意識を備えていきたいです。

2年女子 TH まとめの時間は、佐々木にもこんなものがあったらいいなと考えるよい機会となりました。私自身の防災意識の低さを再確認しました。しかし、考えてみると、防災に向けて自分達ができることがたくさんあり、普段から意識していける所もたくさんあることに気が付きました。地域の方と触れ合う機会が少ないと思ったので、地域の人と触れ合える機会が増えていけばいいなと思いました。

2年男子 OT 「防災に必要な人・モノ・コト」を考えると、たくさんのアイデアがあると思いました。「人」には、率先してボランティアに参加できる人。「モノ」では、非常食、毛布、防災マップを備えたいです。「コト」としては、家具を固定すること、自分の命は自分で守ることです。中学生だけでなく、佐々木地域の高齢者の人たちに防災意識をもっと高めてもらえるように、自分たちが学んだことを伝え、小中学生と高齢者との交流の場を増やしたほうがいいと思います。

1年男子 YR 災害から身を守るためには準備しなければならないことがたくさんあると思いました。予備の食べ物や飲み物など、災害を想定して必要な物品を備えておきたいです。

1年男子 TR 2・3年生が防災学習した内容を聞き、「自助・公助・共助」や「自分の命は自分で守る」など僕が思いつかないことをどんどん話してくれたので、勉強になりました。防災について甘く考えていた所があったので、もう一度防災意識を見直したいです。



「完全燃唱」できた合唱コンクール

10月20日（土）に合唱コンクールを開催しました。大勢の保護者のみなさまや地域のみなさまから中学校に足を運んでいただき、たいへんありがとうございました。生徒も合唱コンクールまでの約2週間、朝練習、昼練習、放課後練習を重ねて、合唱の完成度を高めてきました。大勢の観衆の前で、緊張感いっぱいでの合唱披露でしたが、歌い終えた生徒たちの表情はとて晴れやかでした。1年生合唱曲は「With you smile」、2年生合唱曲は「時の旅人」、3年生合唱曲は「虹」、そして全校合唱曲は「ヒカリ」でした。また、吹奏楽部も「U.S.A」と「いのちの記憶」の2曲の演奏を披露してくれました。

今年のスローガン「**完全燃唱** ～今だけの **Memory・Melody・Harmony**～」の通り、全校生徒が会場に集まった全員に残るハーモニーを届けようと**完全燃焼**できた一日でした。

開会のあいさつ 生徒会長 3年生 S

合唱練習を始めてあっという間に2週間がたちました。この2週間の間の合唱練習を通して、一人一人が、歌に向けての様々な思いがあると思います。その思いをこの本番に向けてさらに高めてきたことと思います。今日の合唱コンクールには、保護者の皆さまや地域の皆さまなど様々な方が来校してくださいました。来校していただいた大勢の皆さまの前で、全校合唱、学年合唱共に、その歌にこめた思いを「感動」として、ここに集まる全員の人に届けられるように、最高の合唱コンクールにしてください。



1・2・3学年のみなさん、がんばりましょう。

1学年曲紹介 曲目「With you smile」 1年 E

私たち1年生が歌う曲は「With You Smile」です。1年生は笑顔があふれていて、楽しいクラスなので、この曲が選ばれました。学級目標にも「笑顔」という言葉が含まれていて、合唱練習の時にも円陣を組みながら、笑顔で練習してきました。練習から工夫したところは、出だしの歌詞を力強く言うことと、一語一語の歌詞をはっきりと歌うことです。三回目の「さび」が後半にいくにつれて段々と盛り上がっていくところに注目してください。19人全員で「笑顔」を届けられるように歌います。



2学年曲紹介 曲目「時の旅人」 2年 O、S

私たちが歌う「時の旅人」は、過去の自分を振り返り、未来に向かっていこうとする曲です。「幼い日の手のぬくもり」という歌詞からは、家族と手をつないだ思い出が想像できます。「涙の後にはいつもきみが」という歌詞からは、泣くようなことがあった時、みんな集まり、仲間や友だちが支えてくれた思い出が想像できます。家族や友だちとの過去の絆を胸に刻み、これからの明るい未来に向かって仲間と一緒に進んでいこうという思いがこめられています。私たち2年生は保育園や小



学から中学校まで、たいへんありがとうございました。たいへんありがとうございました。たいへんありがとうございました。

学校の頃から一緒に過ごしてきました。今日までパートごとに練習したり、全員で合わせ、動画を撮り、それを聴き反省したりもしました。この21人の仲間と支え合い、これからも共に成長していこうという思いをこめて歌います。今日の合唱では全員心を一つにし、「本気（まじ）、半端（はんぱ）ない歌声」を響かせます。

3学年曲紹介 曲目「虹」 3年 F、S

私たちが歌う「虹」という曲は、未来への不安や希望、過ぎ去っていく時を歌った曲です。この曲を歌うに当たって私たちが特に力を入れた点は「表現」です。希望や詩の雰囲気から、どのように歌えばいいかを念入りに話し合い、表情豊かに仕上げました。どのパートも課題を一つ一つていねいに



解決し、最高の出来になっていると思います。私たちが今までつないできた「絆」と積み上げてきた「合唱への強い気持ち」を伝えたいと思い、この合唱に取り組みました。最高学年らしい完成度と歌声に注目してください。私たち3年生に「別れ」はすぐそこまで迫っています。一緒に過ごしている「今この瞬間」も、これから過ごす「時」も美しくけれどもはかなく消えてしまう「虹」のようなものだと思います。だから私たちは、その一瞬一瞬を逃すまいと、今を一生懸命に過ごしています。別れが訪れても確かに残るものがあるように、その光がいつまでも色あせることなく輝くように、これからもどこまでも架かっていく私たちの「未来への虹」をどうぞお聴きください。



全校合唱「ヒカリ」



吹奏楽部 2年 W 吹奏楽部が演奏した2曲（「U.S.A」と「いのちの記憶」）は音を合わせるのが大変でしたが、本番では自信をもって演奏できました。特に、「いのちの記憶」は、全員がソロで演奏するところがあり、とても緊張しましたが、みんなが練習の成果を出して上手に演奏できました。12月の佐中フェスに向けてさらに練習をがんばります

下越地区駅伝競走大会での活躍

10月10日(水)に五十公野陸上競技場とその周辺コースで、下越地区駅伝大会が開かれました。女子チームも男子チームも最後まで粘り強く走り抜き、猛暑の夏休みからずっと練習を積み重ねてきた成果を発揮してくれました。チームメートの声が枯れるほどの応援と保護者のみなさんからの温かな声援を受け、選手たちが上位入賞を目指して頑張りました。



3年 IT

大会当日までの練習では、いい記録が残せるようにと毎日一生懸命に頑張って走りました。本番のレースでは、できるだけ先頭についていきましたが、後半離されてしまったので、悔いが残ります。来年は、今年以上に頑張って練習して、今年以上の結果を出してほしいです。

2年 YK 昨年の練習よりも練習量が多く、特に猛暑の中での夏休み中の練習は大変でした。今年も県大会への出場は叶いませんでしたが、練習でも本番のレースでも「やりきる」ことができたのでよかったです。

2年 YH 今年も昨年に引き続き駅伝のメンバーに選ばれ、下越大会に出場しました。結果は26チーム中21位でした。しかし、昨年度と今年度の記録を比べてみると、今年の方がだいぶ速くなった気がしました。来年は、後輩のみんなに期待しています。

2年 SY 毎日の練習がとてもきつくて、「やりたくない」と思った時もありました。ですが、駅伝チームの仲間がいたので、がんばってすることができました。駅伝大会で、自分のもつ全ての力を出し切れたので嬉しかったし、今振り返ってみると、練習の毎日楽しい思い出です。

1年 TR 僕は、「陸上のレースは、速く走ればいい」とだけ思っていました。レースのどこでスピードを上げたり、下げたりするのかという戦略が大事だと、今回の駅伝大会に出場してはじめて分かりました。来年も走る機会があれば、今回の大会で学んだことを意識して走りたいと思います。

1年 NK 駅伝の練習には夏休み中からずっと取り組みました。部活動でも長距離走に取り組んでいたのでも、以前よりも体力が付いてきたと実感しています。レース本番では、いつもの大会よりも緊張しました。緊張感いっぱいでしたが、第6区の区間をしっかりと走ることができて良かったです。

1年 HS 僕は駅伝チームの補欠でしたが、毎日の練習に休まずに参加しました。駅伝レ

ースの前に行われた記録会では、自分なりにいい順位でゴールできたので良かったです。来年も駅伝メンバーに選ばれたとしたら、正選手になれるようにがんばりたいです。



3年 IS 今年の駅伝レースは、9位という結果で終わりました。ずっと目標にしてきた県駅伝大会への出場権を獲得できなかったことは本当に悔しかったです。しかし、夏休みからやってきた朝練習の成果を一人一人が出し切ることができたと思います。2年生の5人のメンバーにはとても感謝しています。来年の下越地区大会には、佐渡市の中学校も加わってきて、地区大会のレベルが今年以上に上がりますが、今年の悔しさを忘れずに、来年は佐々木中学校駅伝部として何十年ぶりとなる県駅伝大会出場権を勝ちとってきてくることを期待しています。

2年 NR 大会前の朝練習では、ときどき参加できなかったことがありました。大会当日には、私は駅伝競走レースとは別のタイムレースに参加しました。無事に完走できてよかったです。来年も駅伝チームには、よい結果を目指してがんばってほしいです。

2年 GS 私は1区を走りました。1区はチームの流れを決める重要な区間だとも言われるので、思うような順位で次の走者にタスキを渡すことができなくて、とても悔しく、大きな責任を感じました。しかし、全力で走り抜くことができたのでよかったです。駅伝チームは、とても大好きなメンバーです。本当にありがとうございました。今年の悔しさを、来年の駅伝レースへの力に変えて、県大会に出場できるようにがんばります。

2年 KM 大会当日はとても緊張していて、思うように走れるかすごく心配していました。しかし、レース中は、今までの練習を無駄にはしたくないと思いながら、ベストを目指して頑張りました。次の走者に、タスキをしっかりと渡すことができよかったです。

2年 IM 初めて出場した駅伝大会はとても緊張しました。県大会への出場を目指し、みんなのためにもがんばろうと強く思いました。本番では、2区の走者に選ばれ、他チームの選手に付いていけるか、良いタイムが出るか不安だったのですが、区間4位のタイムで走ることができて嬉しかったです。最終結果は9位でした。もっとこうすればよかったなどと、走り終わった後にいろいろな思いがこみ上げてきました。でも、今までの練習で培った力の全てを出すことができた良い大会となりました。

2年 KR 夏休みからはほぼ毎日練習をしてきました。本番のレースでは、今までやってきたことを信じて頑張ろうと思いました。私は、前走からタスキをもらい、すぐ近くにいた他チームの選手を抜き、その前を走る選手にずっと付いていきました。しかし、入賞ができなかったのはとても悔しかったです。だから、来年も出場して、絶対に入賞したいです。

新発田市新人大会を終え、次の課題が見つかりました

10月3日（水）に新発田市中学校新人大会が開催されました。公式の大会に初めて出場した柔道部や陸上部の1年生の感想や、団体戦・個人戦で優勝した剣道部の生徒たちの声を紹介します。

剣道部

新発田市新人大会（10月3日（水）） 団体戦&個人戦 優勝
下越地区新人大会（10月8日（祝）） 団体戦 優勝
荒川地区剣道大会（松浦賢司杯剣道大会） 団体戦 優勝

2年 IK 新人大会では、団体戦、個人戦ともに優勝することができました。しかし、一人一人にたくさんの課題も見つかった大会でした。これからの練習で、練習に取り組む意識をさらに高め、もっとレベルアップしたチームにしていきたいです。

2年 SM 新人大会では、結果はよかったものの、全員が焦ってしまい、試合内容は良いものではありませんでした。今回の大会での課題を意識して、翌週8日の下越大会に臨みました。下越大会では、落ち着いた試合運びができ、試合内容も新人大会よりもよく、新人大会に続いての優勝という結果を収められてよかったです。今後予定される県大会でも、落ち着いた試合運びを心掛け、精神的にもリラックスした状態で試合をしていきたいです。

2年 OT 市内新人大会では、団体戦優勝、個人戦3位という結果でした。翌週の下越地区新人大会でも団体戦で優勝できました。優勝という結果を収めることはできましたが、さまざまな課題が見つかりました。いざ試合が始まると、あわててしまうところがあるので、どんな試合でも慌てずに落ち着いて臨み、しっかり「2本勝ち」できるようにしたいです。今後開催される県大会に向けて、しっかり練習して、いろいろな技や連続打ちを自分のものにしたいです。



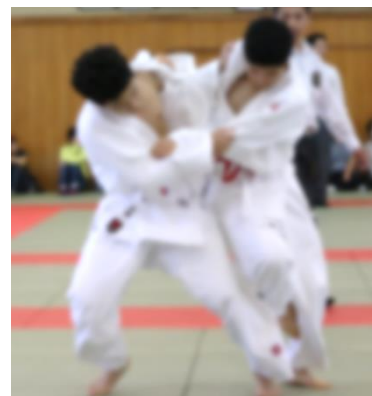
下越地区新人剣道大会(10月8日)	
一回戦	○佐々木中—新発田一中●
二回戦	○佐々木中—中条中●
決勝戦	○佐々木中—聖籠中●

柔道部

新発田市中学校新人大会 女子個人戦 優勝 2年TH
新発田市市民総合体育大会 男子団体戦1年生の部 第2位

1年 YS 新人大会に初めて参加して、団体戦と個人戦に出場しました。自分よりも一回り大きい相手と戦い、組んだ瞬間に押し潰される恐怖を感じました。この経験から、改めて、相手に立ち向かう勇気が、自分から技をかけていくためには必要なものだと思います。これからの練習では、自分よりも大きい相手にも臆せず自分から技を掛けていけるように、日々の練習にこれまで以上に精を出していきたいです。

1年 SK 個人戦では、リーグ戦で2回目に試合をした相手に、内股という技をかけても投げることができませんでした。し



かし、準決勝で対戦した相手には、内股で1本勝ちをすることができました。この「内股」が、これからのどの試合でもきれいに決まるように、普段の練習で技を磨いていきたいです。



新発田市民総合体育大会 (10月8日)

種目	順位	チーム・生徒名
男子団体1年生の部	2位	佐々木中・聖籠中チーム
女子団体	3位	佐々木中チーム
男子個人	3位	_____
女子個人	1位	_____
	3位	_____
	3位	_____
	3位	_____

**陸上部 新発田市中学校新人大会
新発田市市民総合体育大会**

女子100mハードル 1位 2年IM
男子1年1500m 1位 1年NK 等

1年 MS 初めての新人戦で円盤投げをやって7位に入賞することができました。しかし、順位は、出場した選手の中で一番下でした。円盤投げをやってみて見つかった課題は、もっと腕の太さと円盤を遠くに投げる力を付けることです。僕以外の選手はみんな腕が太くて、他の選手たちと並ぶと自分の体格がひよろひよろだったので、これからは毎日家で筋トレをして、もっと順位を高くしたいです。

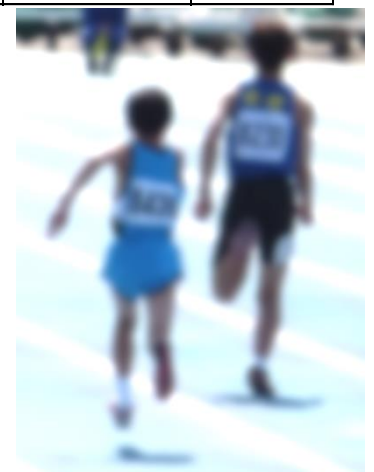
新発田市中学校新人大会 (10月3日)

	種目	順位	生徒氏名	記録
男子	110mハードル	4位	(2)	18秒73
	円盤投げ	7位	(1)	13m80
	4×100mリレー	7位	佐々木中チーム	54秒23
	オープン種目 3000m	4位	(3)	10分39秒62

1年 TR 新人大会に初めて出場してみて、これからの練習で頑張らなければならないことがたくさん増えました。自己記録を伸ばしていくためには、腕の振り方を意識して、スタートダッシュを速くできるように、練習に集中して、真剣に取り組んでいきたいです。

	種目	順位	生徒氏名	記録
女子	100mハードル	1位	(2)	16秒35
		4位	(2)	18秒01
	走高跳び	2位	(2)	1m33
		2位	(2)	1m33
	走り幅跳び	8位	(2)	4m07
	砲丸投げ	2位	(2)	9m27
	円盤投げ	5位	(2)	17m25
	800m	8位	(2)	2分42秒98
	1500m	8位	(2)	5分27秒35
	4×100mリレー	7位	佐々木中チーム	57秒19
オープン種目 1500m	2位	(3)	5分41秒64	

1年 YY 僕は新人大会で、100メートル走に出場しました。今回のレースでは、順位がビリでした。これからの練習では、スタートダッシュを速くすることを目標に設定しました。新人大会後に行われた新発田市陸上大会では、順位がビリから2番目に上がりました。次の大会に向けて、腕振りを大きくすることを目標にして、練習をがんばりたいです。

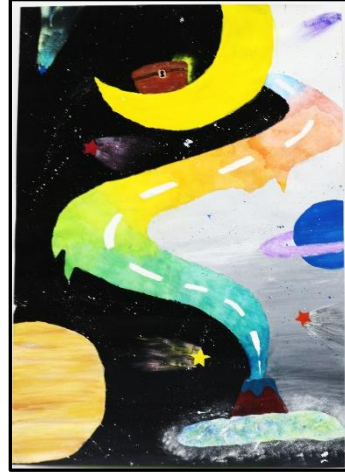
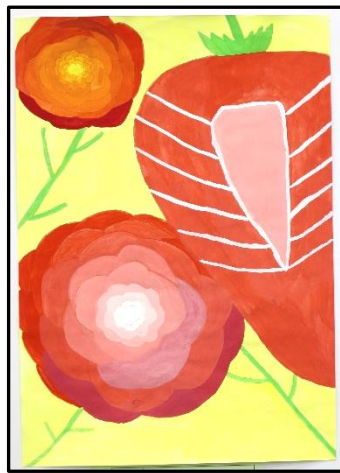


新発田市 市民総合体育大会 (10月6日)				
	種目	順位	生徒氏名	記録
男子	1年1500m	1位	(1)	5分5秒85
	2・3年生1500m	3位	(3)	4分48秒27
	共通3000m	3位	(3)	10分38秒46
女子	2・3年生100m	1位	(3)	13秒53
	2・3年生800m	3位	(2)	2分43秒08
	共通円盤投げ	2位	(2)	20m50
	共通砲丸投げ	2位	(2)	9m47
	共通走高跳び	2位	(2)	1m35
	共通走高跳び	3位	(2)	1m35
	高校・一般400m	3位	(3)	1分9秒14



新発田市美術展に生徒作品が展示されました

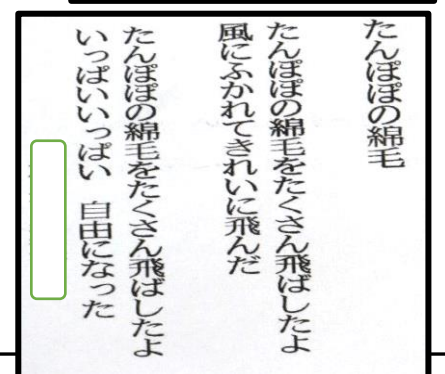
新発田市美術展が、新発田カルチャーセンターで10月19日(金)～23日(火)まで開催されました。佐々木中学校からも各学年から1作品が選ばれて展示されました。他の学校の作品も多く並ぶ中、佐中生の色鮮やかで、個性的な構図で制作された作品が、観覧に訪れた方々の目を大いに惹きつけていました。



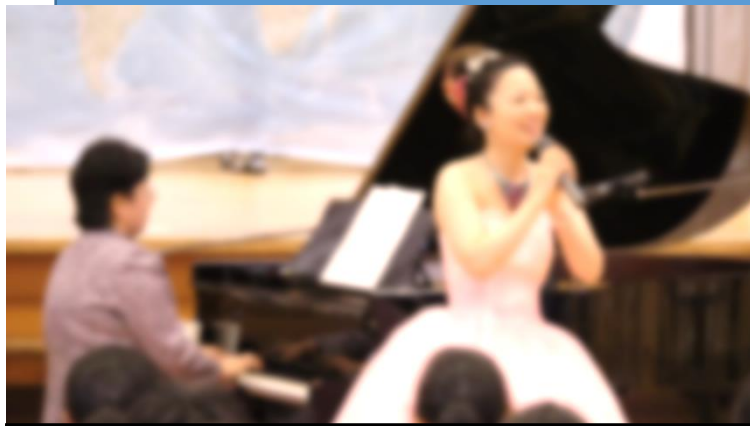
左から、1年TA「莓の日」 2年IM「虹色の道」 3年YA「PARK」

佐中生が様々な分野で活躍しています。

- 新潟県競書大会 準特選 2年 IM
- 新大全国競書大会 金賞 3年 IS
- 新発田市中学校読書感想文コンクール
 - 優秀賞 3年 KS 優良賞 2年 GS
 - 奨励賞 3年 NA 奨励賞 2年 SH
- 下越地区中学校読書感想文コンクール
 - 優秀賞 3年 KS 『僕は上手にしゃべれない』を読んで』
- 新潟県読書感想文コンクール 佳作 3年 KS
- 税についての作文 新潟県納税貯蓄組合総連合会優秀賞
 - 3年 FH 「正しく使われなくてはならない税」
- 新潟日報「ジュニア文芸」欄に掲載
 - 「短歌」 3年 IT 「詩」 3年 IY (10/14)
 - 「俳句」 1年 TR 「短歌」 3年 TR (11/11)
- 漢字能力検定
 - 2級 3年 SC 3級 3年 IT
 - 4級 2年 IK、KR、KM SH
 - 2年 MM 6級 3年 IY



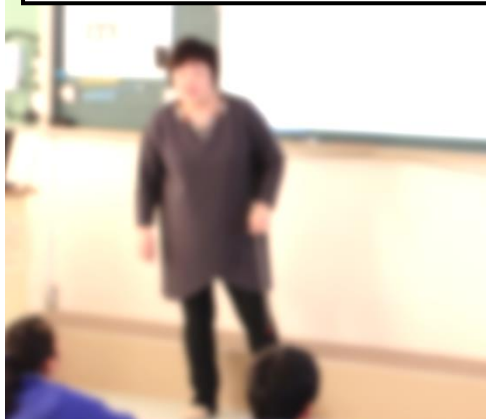
多くの方の支援・協力を得て、2学期も充実した日々



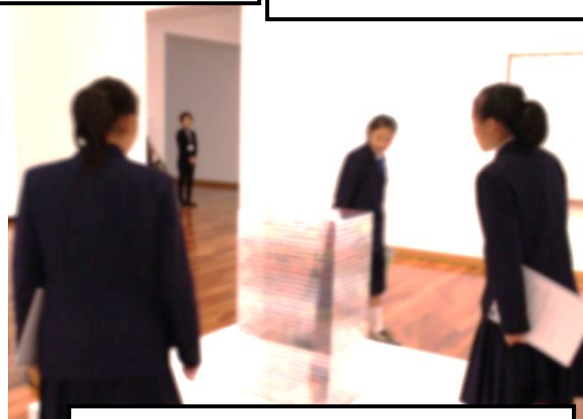
10.20 文化庁事業 Dr. りえのおしゃれなクラシック



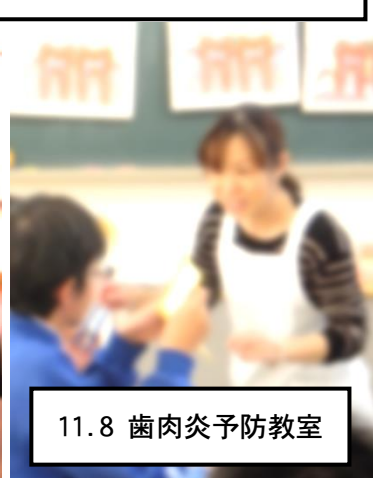
10.15 1年生 飯島集落の方と一緒にそばの収穫



10.15 近代美術館学芸員による出前授業



11.7 新潟市美術館で美術鑑賞授業



11.8 歯肉炎予防教室



11.6 薩摩琵琶奏者による平家物語「敦盛」と「耳なし芳一」を聴く



11.12 3年生 たから保育園で保育実習

